

「災害取材映像」の防災啓発効果と最適な映像の選択
Awareness-raising effect of “Disaster Coverage Video” and selecting the best footage.

○木戸崇之・岡田夏実・矢守克也

○Takayuki KIDO・Natsumi OKADA・Katsuya YAMORI

A survey was conducted to utilize the video archive of the Great Hanshin-Awaji Earthquake for disaster prevention education. When we asked the students who watched the video if there were any differences from the Great Hanshin-Awaji Earthquake that they had known so far, most of the students answered that there were differences. In a survey on the “learning effect” and “mental burden” of videos, there was a correlation that the higher the “learning effect”, the greater the “mental burden”. Videos that are suitable for disaster prevention education are “videos that have a large learning and a light mental burden,” but there were no videos that showed such a tendency statistically.

1. はじめに

筆者が所属する朝日放送グループは、阪神・淡路大震災の取材映像アーカイブを公開している。
(https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/)
2000 クリップ 40 時間分の映像は、制作者の意図を持って編集した番組でも、事後に収録した証言でもない、災害時に取材した生の素材であり、被災者の感情がダイレクトに表現されている。

こうした映像はこれまで、著作権や肖像権が障壁となって教育現場で活用することは難しかったが、このアーカイブ公開は、リアリティを感じられる教材として防災教育での活用を期待している。

反面、リアリティがあるがゆえに心理的な負担を与えるおそれもあり、最適な映像を選択して、学校や市民対象の防災啓発で活用できる e ラーニングサイトを作ることを目標とした。

2. アーカイブ動画を視聴した学生の反応

研究協力者が受け持つ大学の講義で、大学生を対象とした講義を行う際、事前に 2000 本の動画の中から、興味を持った 10 本程度の動画を視聴してもらって「自分が知識として知っている阪神・淡路大震災と違いがあるか」と聞くと、ほとんどが「違っている」と答えた。

多かったのは、「インフラや住宅が壊れている様子は見たことがあったが、被災者に密着して撮影された映像を見るのは初めて」と言う感想である。「建築物の倒壊などその被害状況だけでなく、一人一人の被災者の取材映像があるのが印象的。彼らがこの震災をどう感じ、どんな今を生活しているのか、非常に気になった」「被害といえば家の倒壊や地割れなどに注目しがちだが、その後の人々の生活の不自由さや苦しさなどにもカメラが向けられていた」など、人物が写っていることに驚いていた。このことから、震災を経験していない若い世代が身につけている阪神・淡路大震災の知識はインフラ破壊などに偏り、人々の生活に関する内容が抜け落ちていたことがわかる。映像で災害を学ぶことは、被災者の姿を通して自分事と捉えやすくなり、共感を生み出せる可能性がある。

その一方で「震災のリアルな映像はとても刺激的で正直怖かった」「本当の姿を初めて見た気がして、心が痛んだ」などという感想もあり、小中学校等での映像活用は、より慎重さが求められる。

3. 試行サイトの制作とデータ収集

そこで映像毎に、学びと心の負担を定量的に測定することにした。2000 の映像の中から、6 つのジャンル 30 クリップを選び出し、試行サイト(図 1)を制作した。映像を視聴し終わるごとに「学

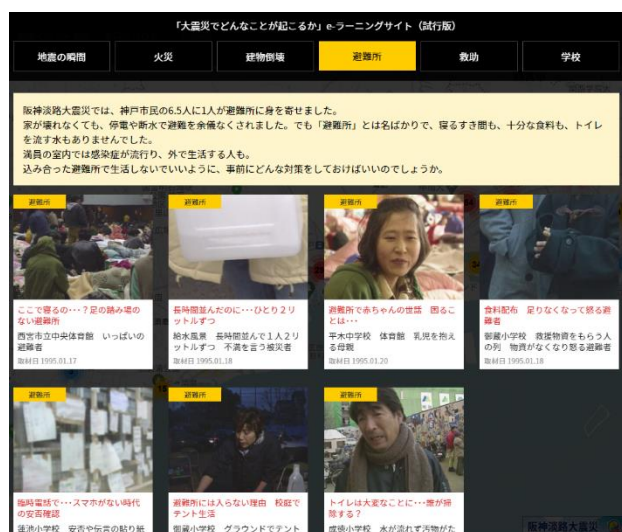


図 1：調査用の試行サイト

び」と「心の負担」を5段階で評価するアンケートが表示される。研究協力者が講義を受け持つ大学生を対象にデータを集めた。予備知識がない状態での評価となるよう、事前課題として、30本の中から10本程度の映像を自由に選んで視聴するよう依頼し、アンケートに答えてもらった。

4. 映像の評価

(1) 相関分析

映像による「学び」と「心の負担」に関する2423件の回答に対して相関分析（スピアマンの順位相関係数）を行ったところ、有意な相関関係が認められ（相関係数：0.198、 $p=0.000$ ）、回答者は「心の負担」が大きい映像ほど「学び」があると感じていることがわかった。また、映像毎に「学び」と「心の負担」の平均点を算出し、相関分析をおこなったところ、「学び」が大きい映像ほど「心の負担」も大きくなる相関が見られ、前述の相関分析結果を裏付ける結果となった（相関係数：0.488、 $p=0.006$ ）。「被災経験の有無」を区別した分析でも同様の結果となったが、「被災経験：あり」では、「被災経験：なし」「被災経験：おぼえていない」のグループに対して相関関係が弱い結果となった。

(2) 多重比較による分析

「学び」と「心の負担」について、多重比較検定によって得点に有意差のある映像の組み合わせ（ $p<0.050$ ）を分析したところ、「学び」に関する各映像の得点には有意差はあまり見受けられず、「中学校の先生が10日ぶり再会した生徒に涙ながらに訓示する様子」「淡路島の消防団員らが生存

者に声をかけながら倒壊家屋のがれきを取り除く様子」がわずかに学びが大きい結果となった。

一方「心の負担」については、「学び」よりも有意差のある組み合わせが多くなり、学びが大きかった「淡路島の倒壊家屋がれき撤去」は、心の負担も大きかった。また、小学校での「授業再開ホームルーム」「給食再開」などの映像は、他の映像に比べて心の負担が軽かった。

しかしながら、統計学上有意に「学びがあり、心の負担が軽い映像」は存在しなかった。「被災経験の有無」を区別した分析でも同じ結果となった。

(3) クラスター分析・因子分析による相対比較

「学び」と「心の負担」を軸に映像を比較し、教育材料として比較的適しているのはどのような映像を探るため、クラスター分析・因子分析による相対比較を行った。その結果、避難所に関する映像は相対的に「適している」との評価、火災に関する映像はあまり「適さない」との評価となった（図2）。火災は阪神・淡路の被害として学生らにとっても既知であること、反対に避難所内の様子についてはあまり学んでおらず、新しい知識であったことが影響した可能性も考えられよう。

5. まとめと謝辞

防災教育に最適な映像を統計学的に導き出すことはできなかった。当面、動画に具体的な防災対策を結びつけたeラーニングサイトを構築した上で、教育現場と連携しつつ、より安全で効果の高いアーカイブの利活用法を模索したい。ご協力をいただいた関係者各位にお礼を申し上げます。

ジャンル	発生の瞬間	火災						建物倒壊						避難所						救助						学校					
		117-01	001-12	001-25	002-08	002-11	075-04	071-08	059-07	075-01	067-03	023-04	028-06	029-05	053-01	053-24	037-23	037-10	037-16	037-20	047-07	112-22	059-24	085-01	107-05	108-02	043-34	042-15	044-25	045-06	044-09
	雑観	雑観	雑観	インタビュー	雑観	記者レポート	雑観	雑観	雑観	雑観	雑観	インタビュー	インタビュー	雑観	雑観	インタビュー	雑観	雑観	インタビュー	インタビュー	雑観	インタビュー	雑観	雑観	雑観	雑観	雑観	雑観	雑観	雑観	
被災経験	生放送中のスタジオ 中断する放送	商店街 火災現場 なす術がない住民ら	火災現場 ホームスズ本での消火活動	逃がっている間に家が焼けた	自衛隊の焼け跡捜索 線香を上げ合掌	通電火災が隣家に延焼 水足らず消火難航	倒壊家屋 火事をバケツの水で消す	つぶれたマンション1階荷物を取り出す	国道2号沿いの倒壊家屋	崩れた警察署 屋外のテーブルで業務継続	鉄道の高架崩れ脱線 倒壊した高架下店舗	高速橋桁落下現場 落ちた車の男性	横倒しになった高速の橋桁	長時間並んで1人2人に不満の被災者	避難所で乳児を抱える母親	救援物資なくなり怒る避難者	避難所 安否や伝言の貼り紙	グラウンドでテント生活を送る避難者	汚物あふれるトイレにカメラを案内	消防団員が生き埋め救助 瓦礫の下に手	自衛隊の捜索活動 救出を待つ女性	33時間ぶり救出 消防車で搬送	倒壊病院に閉じ込められていた患者救出	病院 けが人と避難者でいっぱい	中学校 小雪降るグラウンドで授業	中学校 生徒集会 3年学年主任の話	小学校 簡易メニューで給食再開	卒業式 避難者から祝いの赤飯	小学校 授業再開 ホームルーム		
全体			×	×	×		×	×	×		○	×	○			○	○														
なし	×				×		×	×	×			×	×	○			○	○													
あり										○	○								×												
覚えていない				×										○	×		○	×									×				

図2：クラスター分析・因子分析による相対比較 「学び」が大きく「心の負担」が小さい映像に○をつけた